

## 令和5年度 第5回埼玉県地域クラブ活動推進協議会 会議の概要

- 日時 : 令和6年1月10日(水) 10:00-11:30
- 開催方法 : Zoom ミーティング
- 委員 : 学識経験者、市町村教育委員会代表教育長、関係団体代表、  
県知事部局職員、県教育局職員
- 議題内容 : (1)「埼玉県地域クラブ活動に係る指針について」

### 主な発言

- 全国の地域移行の進み具合を見てみると、既に(少子化等の)課題に直面している学校や地域は動き出しが早いように感じられる。  
部活動別に見てみると、運動部は、チームが組めない部活や専門的指導のできる教員が少ない種目(武道系)が地域クラブ活動へ移行している。文化部は、吹奏楽が地域へ移行され、大人と子供と一緒に楽団に入って活動している光景が見られる。
- 全国の取組例を見てみると、退職教員(主に校長先生)が中心となり課題解決に取り組むための組織を立ち上げている地域やふるさと納税を活用して受益者の負担軽減を目指す工夫をしている地域がある。
- 指針については、様々な方が今後目にする事となるため、抽象的な言葉を避け、より具体的な言葉・文章にすることが望ましい。また、県として示すものであるため、実際に取り組みを進める側に寄り添っていくような言い方が望ましい。
- 「兼職兼業」については、その前提となる教員の現状やなぜ兼職兼業と地域クラブ活動への移行が関わっているのかについて示す必要があると感じる。
- 指針の全体像について、1つ1つの課題に対する解決策を示していくことは重要であるが、より広範囲に視野を広げ、中学校教育全体の体制を考えることも重要だと考える。また、地域をどのように活性化していくのか・どのように地域を守っていくのかを考えていく必要があると感じる。